

## 車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：三ッ合町自治会

開催場所：三ッ合町公会堂

開催日時：平成 28 年 6 月 29 日（水）19 時 00 分～20 時 50 分

参加者：自治会側【地域住民の方 34 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、大村都市基盤部長、森田病院事務部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、駒形戦略推進課係長、山内協働推進課係長】

### 内 容

#### ① 石神三ッ合町自治会長あいさつ

・今日は、市政運営の問題について、自治会においてこういった問題が出てくるのか、そういった面も含めて、忌憚のない意見交換ができればと思う。

#### ② 市長からの市政報告

##### ■はじめに

- ・車座トークは 68 自治会をまわるということで開催しているが、まだ 3 分の 1 もまわっていない。
- ・人口減少や高齢化の進展などにより、多額のお金が必要となる中、みんなが豊かに暮らせる町について、みんなと一緒に話し、私の考えも市民に伝えたいという思いをもって、車座トークを実施している。
- ・それぞれの地域から出てくる話題は千差万別であり、それら話題を一つ一つ伺い、その地域の特徴を知ったうえで、市政に反映することも大事だと思う。

##### ■市から自治会へ推薦を依頼している委員について

- ・民生委員、自主防災委員長、保健委員などの委員が、別々に活動していたのでは地域力を発揮できないのではないかということで、三ッ合町自治会は自治会組織に組み込んでいるが、島田市はどのように考えているのか、という質問があった。
- ・三ッ合町自治会は 2 年前に規約を改正し、さまざまな委員を自治会組織に組み込んで、例えば高齢者の見守りも、民生委員などの負担軽減につなげていくために、自治会とタイアップして隣組単位で見守っていきこうというまちづくりは、私がつくろうとしているまちづくりの理想の形の一つである。

##### ■地域課題について

- ・現在、島田市の高齢化率は 29.3%。約 29,300 人が 65 歳以上。約 15,000 人が 75 歳以上。10 年後には、3 人に 1 人以上が 65 歳以上となると思う。
- ・三ッ合町は、世帯数 449 世帯、人口 1,256 人、15 歳以下人口 171 人（13.6%）、高齢化率 32.5%。（3 月 31 日現在）

- ・三ッ合町は、学校が近く、住みやすい町だと思ふ。
- ・島田市は、1世帯当たりの平均人数が2.7人。一人暮らしや高齢者だけの世帯が増加している。
- ・行政は、ここに暮らしている人たちが、安心して暮らし続けることができるというまちづくりが基本だと思っており、そこを見直したうえで、未来に対する投資を行うというのが私の考え。
- ・地域活力ということについては、部長たちを集めた庁議の中で、例えば、「10年先の島田のために、今何をやらなければならないのか」ということについて議論を行っている。
- ・日本の人口減少が始まったのは2008年からだが、子どもの数が減り始めたのが1975年からであり、現在は少子高齢化が進んでいる状況である。
- ・地域では役員へのなり手が不足したり、川ざらいに参加できないというような状況が出ている中で、地域活力の維持が課題となっている。
- ・自治会も、同じ地区の自治会同士がまとまって助け合うというような方法も考えていかなければならない。
- ・地域の課題を解決するために、交通弱者と言われる方たちを車に乗せて循環するといったことを自分たちで行いたいので、ワンボックスの車やガソリン、保険などを市でみてほしいといったような話をするところが出てきている。
- ・放課後児童クラブが無い小規模小学校においては、放課後児童クラブに行きたい子どもたちがいても、一番近い放課後児童クラブまで約5キロあるため、行くのが困難である状況を地元の自治会に相談したところ、行きだけならということで、子どもたちが放課後児童クラブへ行けるよう、運転をローテーションで実施してくれることとなった。ガソリン代等については、市からお支払いしている。
- ・高齢者にお弁当を届けて見守りを行うなど、さまざまな地域の課題を解決するために、行政との協働が進んでいくと、力を発揮できる地域になっていくと思ふ。
- ・協働を後押しするために、まちづくり支援事業交付金について、これまで1事業に対して1回だけの交付だったものを、今年から最大6回まで交付できるように改正した。これは、新しく始める事業がその地域に根付き、その団体が地域の中で、しっかり根をおろして活動していけるように後押しするもの。

## ■教育について

- ・子どもの数は、5年間で150人、1年間で30人ずつ減ってきている。
- ・学校も子どもの数が減ってきており、子どもの数が増えているのは六合と初倉のみ。
- ・中心市街地は子どもの数が減ってきている。
- ・少子化が進む中、どうしたら若い人たちがここで暮らし続けられるかということを考えていかなければならない。
- ・教育について、特色ある教育、魅力ある学校づくりを進めることで、人を呼べるようになると思っている。
- ・子育て支援も力を入れているが、教育も、一人一人に焦点を当てた教育というものを一生懸命やっている。
- ・市単独で、各学校に支援員を71人配置しており、小規模校でも、必ず補助することができる先生方を置いている。

- ・島田の学校で学ばせてよかったとだけ思っていた環境をつくっていききたいと思う。

#### ■市政について

- ・団塊の世代の人たちは、88%が自分の家を持って住んでいる。団塊ジュニアの人たちは6強が自分の家を持っている。
- ・例えば、島田に両親が住んでいて、子どもたちが東京に住んでいる状況で考えると、両親が亡くなっても、島田に帰ってきてまで島田に住もうという人たちばかりではない。そうすると、あちらこちらに空き家が増えてしまう。全国的に空き家が増えていく時代になる。
- ・そういった時代に対応するためには、行政の在り方は、これまでと同じで良いはずはない。しっかりと舵を切りなおして、市民のみなさんと合意形成ができる地域づくりをしっかりとやっていきたい。
- ・3年前は、現在問題となっている人口減少や消滅可能性都市ということは言われていなかった。言われたのは2年前から。
- ・今までは地方分権と言われていたものが地方創生になり、生き残りをかけた都市間競争になった。島田は、「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をたてて、人口減少に歯止めをかけ、仕事を創出し、若い人たちに住んでいただけるまちづくりのために、「人口ビジョン」もつくって頑張っている。
- ・急激な時代の変化が訪れている今、これからの島田市政の在り方に対して、ぜひご意見をいただきながら、一緒に考えていきたい。
- ・私は、公平公正な市政の運営、情報公開の推進、広域連携、健全な財政運営という4つを約束したし、そういう思いでやっている。
- ・若い世代への世代交代について、自分の役割の一つだと思っている。若い世代が、まちづくりや、自治会や、市政に関心を持ってもらわないと、次の世代にバトンタッチできない。立派な方々がいる間に、若い世代を育てたい。
- ・島田の中に大きな対立軸を生まない市政を目指している。内向きの戦いをやっても島田の力を削いでしまう。島田は一つなので、みんなの力を集める町にしたい。

#### ■森元市長について

- ・昭和28年に島田市長に就任。企業誘致、市役所や市民会館の建設、道路の拡幅などを実施。
- ・昭和48年に退任するときに、「自分はこのまちを量的に大きく発展させてきたが、本当に暮らしやすいまちというのは、量的な発展のうえに質的な発展を遂げたまちなんだ。」とおっしゃった。
- ・森元市長の目指した市政について、60年経っても目指すものは同じ。しかし時代が違う。森元市長の時代は、明日は今日より必ず良くなり、税収は増えて、人口は増えて、活力が伸びていく時代だったが、その時代を裏側から見るような時代を私は引き継いだ。しかし、まちづくりの目的は同じ。

#### ■市民アンケート結果について

- ・島田市民の意識調査の中で、「暮らしやすい町ですか」という項目に、「困ったときは助け合える付き合いができて」と答えた方が3割を超えている。

「立ち話程度のお付き合いをしている」と答えた方が3割弱。「会えば挨拶をする程度のお付き合い」と答えた方が3割を超えている。「ほとんどお付き合いがない」と答えた方が5%。

- ・年代が上がるほど、助け合える関係があるという割合が非常に高い。川根、北部、初倉、金谷という順で多い。
- ・ここに暮らしていることに満足している方は84.2%。少しずつパーセンテージが上がってきている。
- ・一方で、これからのまちづくりに対して危惧していることとして、近所づきあいが減っていることが一番多い。
- ・日中、地域を離れていて、年寄しかいないことに不安を感じている方もいる。
- ・地域活動に若い人が参加してくれないことが課題だという方もいる。
- ・20代の方の意見では、町内会や自治会の活動には、何となく参加しにくい雰囲気があるというものもあった。どうやって若い人を巻き込んでいくかがポイントであると思う。

#### ■市民会館について

- ・市民会館の再建築の要望について、1万7千人を超える署名をいただいている。
- ・市民会館の取壊しが始まった。工期は5月から11月初旬までの予定であるが、できれば大祭までに取壊しが完了すればと思っている。
- ・市民会館取壊し後は、駐車場、イベント広場、避難場所などに利用予定。
- ・市民会館の稼働率は、練習日も含めて、年間50～60日だった。
- ・病院建設や市役所の老朽化（築53年）といった状況の中、市民会館だけを単独で建設することは少し待たせていただいて、市役所を造る時に合築を考えたり、広域で使う方法を検討したり、いろいろな方法を考えていきたいと思っている。
- ・ピーファイブの1階が空いてしまっている問題がある。家賃が高く、窓が無い、搬入口が無いなどの問題で、なかなか使えない状況となっている。この問題に対する6月議会での質問に対し、市民会館の現状も考慮し、音楽を愛好する方たちの小さなホールや練習場として使えないか検討をする旨答弁した。

#### ■防災について

- ・中心市街地は、南海トラフ型の地震が発生すると、5軒に2軒が、全壊、半壊又は火災が発生すると想定されている。
- ・特に住宅密集地、古い住宅が多いところは、火災の発生が危惧される。
- ・昭和56年以前に建築された建物は、現在の耐震基準を満たしていないため、巨大地震が発生した際には倒壊の可能性がある。
- ・耐震化率を高めるために、耐震補強工事への補助も行っているが、工事費用が高いなどの理由もあり、耐震補強率は8割程度にとどまっている。
- ・助けられる命は全員助けたい、そんな思いから、6月補正により、「耐震シェルター」（約3畳の大きさ、4.5畳以上の部屋なら設置可能）及び「防災ベット」（ベットに柱と天井が設置されているもの）の設置に対する補助について予算を計上した。また、これらについては、プラザおおるり1階西側スペース

に7月中旬まで展示しているので、ぜひご覧いただきたい。

- ・補助の上限は、耐震シェルターが30万円、耐震ベットが20万円。昭和56年以前に建てられ、耐震性を満たしていない住宅を補助対象とする。上限額の範囲で、施工や購入のほとんどをまかなえる見込。7月1日から受付開始。
- ・耐震補強工事に対しては、補助金の上限額を一般世帯には60万円、65歳以上の高齢者世帯へは80万円とした。県内市町の中でも一番高い水準とした。
- ・三ッ合町の避難所は一中だが、避難所の収容人数は200人程度しかない。
- ・避難所へ逃げるのは、家が潰れた人や、家が潰れる恐れがある人たちであり、基本は自宅で過ごすこととなる。
- ・災害発生後、自宅で過ごす場合、食料が回ってこないという問題が起こる可能性がある。
- ・三ッ合町公会堂が、地域の防災本部となる。避難所までは行政が責任を持って物資を運ぶが、避難所から先の物資を回す仕組みをつくっていくことが重要になる。
- ・市には、自衛隊出身の危機管理部長を配置している。防災の出前講座や、隣組ごとの避難計画などの相談にも応じるので、活用してもらえたらと思う。

#### ■稼ぐまちについて

- ・新東名高速道路島田金谷IC周辺の78haを内陸フロンティアとして指定した。今、農振除外と受益地の除外に懸命であるが、目途が立てば企業誘致を考えている。
- ・にぎわい交流拠点について、NEXCO中日本、大井川鐵道、JA大井川、島田市の4者が連携し、新東名高速道路島田金谷IC周辺に、地域の特産品を集めた販売所、SLを見ながらくつろげるカフェやレストランなどが入る施設を建設する予定。大鉄は新駅建設も検討している。また、市は、新東名の下に、国の占用許可をとって、約1,000台弱の駐車場を造る予定となっている。
- ・金谷中学校跡地に、5.5haの土地がある。空港から近く、お茶の郷からも歩いて行ける。ここについて、民間の力を活用して、大規模開発ができないか検討しており、今年度末までに事業コンペまで実施できればと思っている。
- ・お茶の郷は、6月1日に県有化された。今後、「ふじのくに 茶の都ミュージアム」としてリニューアルオープンする予定。夜景100選に選ばれた「牧の原公園」も大きく手直しする予定であり、この一帯を、インバウンドするお客様にお金を落とさせていただけるような場所にしていきたい。
- ・安心して暮らせるまちづくりと、稼ぐまちをつくって、雇用を生み出し、若い人たちが住むことができるまちをつくっていくことをしっかりとやっていきたい。

#### ■保育園について

- ・保育園の希望者が増えている中、0、1、2歳の待機児童がいる。3歳以上の待機児童はいない。金谷と川根には0、1、2歳でも待機児童がいらない。
- ・平成29年度に、向谷にある市の土地に、民間によって保育園を造る予定。0、1、2歳について約60人をあずかる予定。地元の説明を始めたところ。

- ・場所は、北河製品所の横の、市営住宅があったところ。
- ・幼稚園に入るお子さんはどんどん少なくなっている。今年、市内で9割以上の定員を満たしたところは2園のみであり、定員の半分以下の幼稚園もある。
- ・幼稚園も、認定こども園へだんだんシフトしていくと思う。そうでないと、幼稚園も経営が出来なくなっていく。
- ・子どもを預けてでも働きたいというお母さんは増えているため、島田に来れば保育園に入れるという状況をつくっていきたい。

#### ■島田市産業支援センターについて

- ・今年の4月12日に、島田市産業支援センター「おびサポ」が、しましんの向かい側にオープンした。
- ・相談については予約制で、1件あたり1時間。当初は、年間に1,200件の相談件数を見込んだ。
- ・実際の相談件数は、月に260件前後であり、最初の4～5か月経たないうちに、当初の年間見込件数1,200件を超えるほど盛況。
- ・相談の内容は、経営支援、各種補助金、起業創業支援、副業（異業種への参入）、事業継承、よろず相談など。
- ・相談者は、島田市のみならず、市外からも多く来ている。
- ・企業誘致も大事だが、地元の企業を大事にして、元気にして、強くしていくことが大事。
- ・空き家情報なども、紹介できるようにしていきたい。

### ③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1	<p>■ローズアリーナの卓球場について</p> <p>・ローズアリーナの卓球場について、いつもいっぱいに入れない。わざわざ（ローズアリーナまで）行って、入れずに帰るということを、最近2回くらい繰り返している。場所も限られているし、卓球場を拡張するのも難しいというのもよくわかるが、（使用時間の区分が）午前、午後、夜間となっている。午後の区分を例にとると、午後1時から午後5時までと、すごく時間が長い。一定の金額を払うと、午後の時間中はずっとできる。一度入ってしまうと、空かなくなってしまう。例えば、今の金額を半額にして2時間にするとか、あと30分すれば空きますよとか、上手くローテーションして、みんなが楽しめるような施設・運営にしていきたい。運営会社（指定管理者）の方へも、「そういうことができないのですか」と聞いたが、「それは市が決めることなので」ということだった。こういった声がなかなか上げ</p>	<p>●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック、パラリンピックの合宿誘致にローズアリーナを使えないかということで、検討している。</li> <li>・島田は、卓球をオリンピック、パラリンピックの合宿誘致の競技にしたいと思って頑張っているのでも、市民の皆さんにも、卓球を盛んにやっていただきたいと思っている。</li> <li>・（ローズアリーナへの）エアコンの設置に2億円以上かかるが、それもしっかり考えていかなければならない。</li> <li>・使用時間の区分については、おおりなどのほかの施設が、午前・午後・夜間という区切りとなっているため、同じように卓球場もやっていると思う。</li> <li>・今、そういった料金の見直しをしようと思っているところなので、せめて2時間くらいずつの区切りが出来れば、皆さんにお使いいただける</li> </ul>

	<p>られないのかなということも思った。場所を広げることは難しいとしても、運営方法を変えることによって、みんなが楽しめるようになるのではないかな。</p>	<p>のかなと思うし、「あと何分待てば空くよ」というのがわかる形にしていきたいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このことは、宿題として持ち帰らせていただく。</li> </ul> <p><b>【検討事項1】</b></p>
2	<p><b>■市から各自治会に推薦を依頼している委員について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から各自治会に推薦を依頼している委員（保健委員、青少年育成補導委員など）について、自治会の中で、どういう立場で仕事をしていかなければならないのかということが見えてこない。我々（三ッ合町自治会）では、一昨年から、自治会の中に組み込んで活動してもらった環境をつくった。しかし、委員になった人たちが、どういう位置付けで自治会に入っていくのか、どこへ言ったらいいいのかわからないということがあるため、もう少しサポートしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・自治推進委員は協働推進課から、民生委員・児童委員は福祉課からお願ひするというように、それぞれ市役所の担当が違う。市からお願ひしている委員が8つあるが、それぞれ担当部署が違うため、8つの委員をまとめた形での自治会とのつなぎということについて、行政側ができていない。この点については、大きな気づきがあった。</li> <li>・昔は、1つの部の1つの課ですべて話がついたが、今は横軸をさしたような、いくつもの部、いくつもの課が一つの課題に向き合わなければならないような時代になった。そのため、一つの課題に対して、私も含め、何人もの部長や課長を呼んで、全体で話し合うような会合を頻繁に持つようになってきた。</li> <li>・それぞれの課では、自分達の課のことだけなので気が付いていないと思うが、全部まとめれば、このような大きな課題が自治会の中に生まれているということなので、どのようにすれば、委員の皆さん方が自治会と繋がっていきやすくなるのか、方法を考えていかなければならないという課題をいただいた。</li> <li>・例えば、民生委員は自治会長とは繋がっていると思うが、自治会組織とどれだけ繋がっているかということ、地区によって違うと思う。しっかり自治会と繋がっていないと、仕事が出来ないと思うので、この件については、市役所内部に話をしていく。</li> </ul>
3	<p><b>■放課後児童クラブについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブは、これから非常に大事になってくる。（運営について）第一小学校区は公設民営、伊太小は公設公営になっている。公設公営は、市役所が中心となって運営するが、公設民営は、自治会が中心となって運営する事となる。これについてはいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・放課後児童クラブは、年々、入ってくる子どもの数が増えてきている。</li> <li>・6年生までみるようにしている中、5・6年生はほとんどいないが、4年生はまだいる。</li> <li>・今年は125人の待機児童が出たため、第一小、第二小、第四小、金谷小、初倉小など、増設や空き教室を使わせていただくことを強くお願ひし、今現在は27人の待機児童になっている。</li> <li>・公設民営は、（自治会の方に）年に2回くらいお集まりいただいているが、実際は、何かあったら対応するのは行政の職員というように、行政がほとんどかかりっきりとなっている。</li> <li>・伊太小の公設公営については、実は北部地域の小学校（伊太小、神座</li> </ul>

		<p>小、相賀小、伊久美小)を全部あつめて伊太小に持ってきてみている。そういう中で、4つの小学校をまとめているので、公設公営という形になっている。</p>
4	<p>■蓬萊橋について 蓬萊橋には相当な観光バスが来ているが、あそこは何も稼ぐところが無いのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・蓬萊橋は、これまでは国土交通省の所管であり、なかなか何かを建てるができなかった。</li> <li>・規制緩和もあり、ずっとお願いしてきたこともあり、建ててもよいという許可をいただいた。ミズベリングという協議会をつくり、答申をいただいた上で、来年の新茶の時期に間に合うように、お休み処と、物品販売をする場所を造りたいと思っている。</li> <li>・幕臣 800 人を率いて牧之原台地の開拓に入った中條景昭を派遣した勝海舟の銅像を、牧之原台地を望むところに建てたい。勝海舟の、幕臣 800 人を励ます胸の熱くなるような手紙が、去年、千葉で発見されるなど、島田と勝海舟のつながりが、子ども達の誇りになるよう教育もしていきたいし、観光の名所にもしていきたい。</li> <li>・最初は、左岸側の番小屋の近くから来年の春を目処に整備を始めていきたい。</li> </ul>
5	<p>■市役所、市民会館について 市役所は耐震性のあるしっかりしたものにしたい。お金が無いというのわかるが、おおるりも何年か経てば使えなくなる。市役所、市民会館の合築について、10年後から検討を始めるのでは遅い。PFIという方法もあるが、10年近くかかってしまう。しっかりした市役所を造るために、民間の力を借りて、市民の大勢の意見を入れながら進めていけるよう、委員会や部署を早めにつくっていただく準備をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・病院建設の費用がどのくらいかという目処がついた時点で、ものすごく経費削減が出来れば、(市役所建設も)すぐにも出来るかもしれない。</li> <li>・PFI、PPP、リースなど、様々な手法がある。</li> <li>・市役所、市民会館だけではなくて、おおるりも含め、一帯のことを考える必要があるため、検討委員会やプロジェクトチームをつくっていきたい。</li> <li>・お金が無いのではなく、お金の賢い使い方を考えていく必要がある。</li> </ul>
6	<p>■ふるさと納税について ふるさと納税について、島田市の現況はどうか。ふるさと納税で得をするところもあれば損をするところもあるということで、島田市はどうなっているのかということをお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・島田市は、損はしていない。</li> <li>・全国 1,741 の自治体の上位 10 団体が、黒字全体の 25%を占めており、上位 100 団体が黒字全体の 75%を占めている。</li> <li>・ふるさと納税で、かえって損をしている町がたくさんある。</li> <li>・ふるさと納税の仕組みは、例えば、よその町の人が島田に 1 万円を寄附すると、島田から 5,000 円分の返礼をもらい、自分の住む町に、1 万円を寄附した証明を出すと、8,000 円分の所得控除が受けられる。</li> <li>・数年前の数字で、一番損をしていたのが横浜市で、5 億 5 千万円損を</li> </ul>



		<p>していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位の10団体は、ほとんど海産物に恵まれているところ。焼津も魚がある。</li> <li>・島田は島田なりに、島田のものや、まちを売り込むという意味では、大事なツールだと思っている。これからも力を入れていきたい。</li> <li>・島田は、5万円で大井川マラソンの出走権を出しており、去年は27人、135万円のお金が集まった。今年は、昨年以上の申込みがある。</li> <li>・焼津は、ふるさと納税のお返しに、深海魚を出している。注文をいただいてから深海魚をとりに行くという、おもしろいものもやっている。</li> </ul>
7	<p>■市民病院の進捗状況について 市民病院の進捗状況について聞きたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・現在、基本設計を行っており、今年度中に詳細なものが出てくる。</li> <li>・現在の計画としては、現在の病院の東側の駐車場のところに、7から8階建ての、T字型の建物を予定している。建設費は247億円の予定。</li> <li>・現在の救急棟のフロアを、透析センターとして使えないか検討中。建物の上にドクターヘリがついて、すぐ下が救急センターという内容。</li> <li>・病床数は445床、現在の診療科目は、ほぼ全部残すが、精神科は医師の確保が難しいため、整備しない方針。</li> <li>・現在35床ある療養型の病床については整備しないが、入院患者について、次の病院が決まるまでは、一般病棟の中でしっかり診ていく。</li> <li>・国も毎年1兆円ずつ医療費が伸びているなど、福祉や医療や介護にかかるお金がどんどん増えている中で、国は在宅へという流れを考えている。</li> <li>・在宅の流れの中で、島田も4月から24時間訪問看護ステーションを始めた。医師の指示書にしたがって、24時間医療行為をするもの。病院と診療所をつなぐ役割がある。</li> <li>・市内の開業医が高齢化してきており、往診してくれる先生方が少なくなってきたり、医師の確保が大きな課題となっている。</li> <li>・合併特例債が平成32年度まで使えるため、病院は平成32年度末までには完成させたい。</li> <li>・市役所も合併特例債の対象となるが、同時期に建設すると、病院建設、市役所建設という大きな事業が重なってしまう。しかも、医療機器の約50億円分は、5年で返済しなければならず、稼ぐまちをつくるために投資するお金が無くなってしまう。</li> <li>・ただし、病院建設費が20億も30億も安くなったのなら、合併特例債が使えるうちに市役所を建設した方が良いかもしれない。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の事業費が固まる頃に、病院だけではなく、市役所やその周辺の公共施設を考える検討会を立ち上げていきたいと考えている。</li> </ul>
8	<p>■医師の確保について</p> <p>昔は、京都大学とのつながりがあったが、今は、医師の行先は個人の自由意思になったため、医師の確保が難しい状況ではないか。島田市として、どのような対応をするのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・昔、市民病院は京大系だったが、医局制度が廃止され、学生が自由に研修場所を選べるようになったため、静岡まで来てくれる先生が少なくなった。</li> <li>・そうした中、就任直後から浜松医大に足しげく通っており、医師の派遣をお願いしている。</li> <li>・今年の4月1日現在、浜医出身の医師が16人おり、増えてきている。</li> <li>・今後も安定して医師を派遣してもらえよう、しっかり浜医と連携していきたい。</li> <li>・浜医との連携が進めば、志太三市の病院の連携も進んでいくと思う。</li> </ul>
9	<p>■自治会の合併について</p> <p>三ッ合町について、今まで30組あったものを、17組に再編した。自治会の合併についてお話があったが、市ではどのくらいの規模の合併を想定しているのか。</p> <p>各自治会については、それぞれの文化があるので、合併するのはなかなか難しいところがある。各自治会が、ベクトルを合わせていくことが、お互いに高めあうことができると思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・自治会の再編は、自治会が主体となって考えていく必要があり、行政が強制的にできることではない。</li> <li>・それぞれの地域が地域活力を維持していくために、各自治会が、各地域ごとに共同体として「まちづくり協議会」というようなものをつくり、お互いに助け合ったり、要望活動をしたりすることができるようになると、その地域の力が発揮できるようになるのではないかと考えている。</li> <li>・各自治会がベクトルを合わせていくことについては、島田市にも当てはまる。近隣の市町とベクトルを合わせて、助け合えるところは助け合って連携していきたい。</li> </ul>
10	<p>■国一バイパスの四車線化について</p> <p>バイパスの四車線化の予定はどうなっているか。国道473号線は、菊川ICにつながるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・島田金谷バイパスは既に事業化されており、新大井川橋のところは着手している。</li> <li>・菊川 IC について、フルインター化の用地買収をし、工事着手している。</li> <li>・完成年度については、以前は平成30年代の前半と言われていたが、最近では30年代の後半だと国交省が言っている。工事の進捗は、国の予算のつき具合による時代になってきており、いつまでに完成という約束をしてもらえない。</li> <li>・大代 IC は、今のトランペットでは四車線化されると降りることができないため、もっと大きなトランペットを造らなければならない。その際、どこの用地にかかるのかということを示してもらわないと、将来的なま</li> </ul>

		<p>ちづくりに影響が出てしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤枝バイパスは、四車線化の事業化が決定した。</li> <li>・ 東光寺 IC のフルインター化について要望している。</li> <li>・ 国道 473 号線は、菊川 IC につながる。</li> <li>・ 大きな震災が起こったとき、港湾で物資の搬入などに使えるのは御前崎港となる。473 号線で北へ上がって、倉沢 IC から国一バイパスに入り、大代 IC から新東名へとつながり、県内へと物資が運ばれることとなる。この道のことを「命の道」といつも言っており、国交省も重点的に整備することを約束している。</li> </ul>
--	--	---

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答（対応状況）
1 検討事項 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> <li>・オリンピック、パラリンピックの合宿誘致にローズアリーナを使えないかということで、検討している。</li> <li>・島田は、卓球をオリンピック、パラリンピックの合宿誘致の競技にしたいと思って頑張っているので、市民の皆さんにも、卓球を盛んにやっていただきたいと思っている。</li> <li>・（ローズアリーナへの）エアコンの設置に2億円以上かかるが、それもしっかり考えていかなければならない。</li> <li>・使用時間の区分については、おおるりなどのほかの施設が、午前・午後・夜間という区切りとなっているため、同じように卓球場もやっているとと思う。</li> <li>・今、そういった料金の見直しをしようと思っているところなので、せめて2時間くらいずつの区切りが出来れば、皆さんにお使いいただけるのかなと思うし、「あと何分待てば空くよ」というのがわかる形にしていきたいと思う。</li> <li>・このことは、宿題として持ち帰らせていただく。</li> </ul> <p><b>【検討事項 1】</b></p>	<p>■ご利用に際し、ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。</p> <p>卓球場については利用率が高く、ローズアリーナの卓球教室にも多くの方にご参加いただいております。</p> <p>卓球場の利用方法につきましては、より多くの方々にご利用いただけるように、利用時間の細分も含め、今後、指定管理者と一緒に改善に向け検討いたします。</p>